

# まちづくりペタンク

## モデル事業実施に至るまで(2)

令和四年七月協働推進課を訪ね、モデル事業の説明を受けました。モデル事業になれば次のことは可能になることが分かりました。

- 区長会や町内会長会等で事業紹介が可能
- (先方の了解必要)
- 市のイベントで紹介コーナーなどの設置が可能
- 広報あかいわへの掲載
- 呼びかけの機会が赤磐市の後押しで増えると思いい、事業に応募することを決意しました。

応募用紙(エントリーシート)を作るに当たり、社会教育課スポーツ振興班に協働を取り組んでいただくことを要請し、承諾を得ました。八月には、ペタンク協会の役員会議でモデル事業への応募と取り組みの概要を話し、応募についての了解を得ました。

## 今どんなモデル事業が実践されているの？

エントリーシート作成にあたっては分からないことが多く、協働推進課に「今までの応募シートを見せてもらえないか」とお願いしたが、認められませんでした。過去のモデル事業や現在進行中の事業について市のホームページ等で調べてみました。どんなことを実施しているのかの情報が少なく、参考になりません。手探り状態で応募書を作成し、協働推進課に提出しました。

十一月、モデル事業のヒアリングがあり、協働推進課・社会教育課スポーツ振興班・ペタンク協会3者で事業について検討しました。その時点での取り組み概要を説明しましたが、具体的などの指摘をいくつか受けた記憶があります。事業提案書は二月上旬ま

## たった7分!

三月になって、審査員の前で事業説明をするプレゼンテーションがありました。説明会がどんな様子なのか分かりませんが、驚いたのは説明時間が「7分」ということでした。自分の経験からいうと一つの取り組みを説明するには少なくとも十分は必要です。結局「事業に応募した動機とペタンク活用の有用性」

## 真冬にペタンクする人いるの？

長年ペタンクをやっている人は、真夏の炎天下では「今日はするのをやめよう」と言いますが、真冬に「寒いからやめよう」と言う人はあまりいません。「地面が凍っていてゴロゴロ音がする」「手がかじかんでいうことをきかん」「ボールが氷のようにあ」と言いながらペタンクで遊びます。

基本ボールを投げる方の手は手袋をつけません。ポケットにカイロを入れて、手を温めます。時にはボールをお湯につけて温めることもあります。温かい下着を何重にも着込んで、風を通さない上着も着用します。みんな丸々とした姿になってボールを転がします。端から見れば「歩き回るだけ遊びます。」



2023年2月門前公園ペタンク風景



願いをひとつ言うがいい

2024年

二〇二四年 ペタンクを活用したまちづくりをあなたの地区・地域・組合で始めましょう 全力で支援します

二〇二四年 新しい年を迎え、ペタンクを楽しむ場が市内各地・各所にでき、皆の笑顔が広がっています。



## ペタンクの活用をひろげたい

事業開始から九ヶ月がたち、当初作った実施計画イメージ図を再度見つめてみました。ど真ん中にある「体験・継続支援活動」が思うように増えていないことが事業進捗の最大の「壁」となっていることがはつきりしてきました。ペタンク協会としては「毎月ペタンク体験教室」を九月から実施しています。希望者がいつでも体験できる場を確保しています。毎月数人の方が体験に参加しています。しかし、「要望のある地区に出かけて行って体験会実施」は皆無です。地区・地域や各種団体・組合・職場・グループ等から「ペタンクを使ってみたい」と言われるような取り組みが必要で

## モデル事業に 来年度も申請

本年度に続き、令和六年度のモデル事業にエントリーしました。十二月十八日に協働推進課のヒアリング会議がありました。

活動については

- ・ポスターや情報紙を貼ってもらう。(掲示用情報紙は少し大きいものを)
- ・公民館主催講座でとりあえず一回ペタンク体験会を実施してもらう。
- ・地区社教でもペタンク体験会を開催してもらう。

「希望があったら実施する」ではなく「開催の承諾をください。地区社教共催行事にしてください」と要望していく。

ニーズの高い方に届く広報のやり方を工夫する。

- ・スポーツ推進委員の方にも協力を得られるようにしていく。

等々取り組みの重点を話しました。実際に体験会が実施できるかが勝負です。

## 交流親睦の場を創る ペタンクという道具

よい仕事にはよい道具が必要で。優れた道具とは「誰にでも使いやすく、理にかなっていて、長年便利に使えるもの」です。私たちの事業ではペタンクを「優れた道具」として使ってほしいのです。地域や職場・団体での交流と親睦に、使いやすい手軽で長く愛さ